

琉球新報 2014年3月25日(火)掲載

3月19日 那覇地区公民館連絡協議会円卓会議 紹介記事

※みらいファンド沖縄は、企画運営助言、司会者・記録者派遣で協力しました

2014年(平成26年)3月25日 火曜日 王亮 王求 辛斤

# 若者目線の企画必要

## 連絡協「公民館」「自治会」を議論

若者の目に映る公民館、自治会をテーマに那覇地区公民館連絡協議会の円卓会議が19日、那覇市中央公民館で開かれた。自治会長や公民館を運営する責任者、行政担



一般参加者も自治会、公民館と若者の接点について意見を交わす那覇地区公民館連絡協議会の円卓会議＝19日、那覇市中央公民館

当者、地域コーディネーターなど、地域活性化に「安心・安全・防災」に果敢と自治会が果たす役割を若者が理解していないなどの意見が出た。若者と接点を多く持つ企画力や、地域で育つ集団の大切さも確認された。自治会関係者も、若者目線の企画は、自治会への参加者への意見交換の場も用意され、自治会や公民館の課題について意見が相次いだ。

自治会はそもそも映っていない。「安心・安全・防災」に果敢と自治会が果たす役割を若者が理解していないなどの意見が出た。若者と接点を多く持つ企画力や、地域で育つ集団の大切さも確認された。自治会関係者も、若者目線の企画は、自治会への参加者への意見交換の場も用意され、自治会や公民館の課題について意見が相次いだ。

野底武光さんは「若者の目に公民館や自治会が映っていないことを認めることがスタートラインだ」と述べた。「ダンスや趣味など若者は目的型で集まる」と指摘し、公民館や自治会との接点の模索を提示した。会場の参加者からは「自治会がいない」「自治会の垣根が高い」「行事が多くて面倒くさい」といった意見が出た。

自治会加入世帯を4年間で2.4倍の155世帯まで増やした。その背景には「安心、安全、防犯なこと」がスタートラインだ」と述べた。「ダンスや趣味など若者は目的型で集まる」と指摘し、公民館や自治会との接点の模索を提示した。会場の参加者からは「自治会がいない」「自治会の垣根が高い」「行事が多くて面倒くさい」といった意見が出た。

松島自治会の西平悟自治会長は64世帯だった自治会加入世帯を4年間で2.4倍の155世帯まで増やした。その背景には「安心、安全、防犯なこと」がスタートラインだ」と述べた。「ダンスや趣味など若者は目的型で集まる」と指摘し、公民館や自治会との接点の模索を提示した。会場の参加者からは「自治会がいない」「自治会の垣根が高い」「行事が多くて面倒くさい」といった意見が出た。